

天

竺

角

夜

新

虫丸独儀

[陰陽河]

イシツナ

スタンプ

藤條虫丸・正徳酒造主人
片山旭星・正徳酒造
正徳院猫丸・正徳酒造作家

出演

其台詞音・塚本修
音響・梶原伸
衣裳・西野なおみ
写真・羽鳥直志
宣伝美術・秋山裕
制作・虫丸事務所
©1992虫丸事務所

前売 2000円/当日 2500円

チケットぴあ・その他各プレイガイドなどで発売

I Chanced upon Michael
Fujita leaning near naked with Chuck + Kenneth
in Creanwood Village's Washington Square Plaza
struck by his physical beauty, thin body, yellowed
long hair, improvisatory balance, self-containment,
sacred sexual posture, ^{the} immediacy of his own
body. I invited him to my home, within Post
Peter Orlovsky came out of his room, he leaned
for Peter at my request - a complete drama in
the kitchen doorway. I hope to see him
enough to see him, by chance or formal performance,
enjoy his spirit & body as much as I did.

Allen Ginsberg

11/14 91

2 AM.

グレニッチ・ヴィレッジのワシントン・スクエアで、腰布にガウン、半裸でおどる藤篠虫丸に出くわした。その肉体美に、ほそい身体に、黄染めの長髪に、即興のバランスに、自己充足に、神聖な性的ポーズに、その舞踏の独自性に、私は心打たれた。彼を家に招いた。私のリクエストで彼は、部屋から出てきた詩人ピーター・オーロフスキーのためにもおどってくれた——キッチン戸口に於ける完成されたドラマ。偶然であれ公演中であれ、他の人達も彼を見、私と同じく、その心と身体を堪能できる幸運に浴されることを念ず。

アレン・ギンズバーグ〈詩人〉

91年11月14日 午前2時

岡本康児 (A SCULPTOR-TURNED-INTO PART-TIME TRAVELER)

アメリカに旅立つ虫丸さんが携えて行った彼の紹介文を、僕はこう結んだ。「慈悲深い伝道者でも、残酷な批評家でもない。一人一座の舞踏旅芸人、虫丸は土地の住人を映し出す正直な旅人、さもなくば、熱沙の大地に揺らめく雫の幻影」と。

時は流れ、季節は移ろい、そして年が変わった。アジアを、アメリカをさらにヨーロッパまでを語り歩いた彼が、今度は日本を巡る新しい旅を始める。僕は僕で、この稿を書き終えると直ぐに、行く宛知れずの放浪に出る。一昨秋、チベットの都ラサを振り出しに、彼と僕の旅の軌跡は幾度となく交差してきたが、さてこの次は何処いらで……

天然
肉体詩
虫丸
独儀

幻冬ノ北ノ大地ヨリ彼岸ノ春へ身体ヒトツノ踊り旅

- 大阪 Aホール 2/7 (8) 90
- 名古屋 セツ寺共同スタジオ 2/14 (15) 16
- 山形 出羽三山神社へ春前 2/18 (20)
- 秋田 十文字町総合文化センター 2/20 (22)
- 北海道 へ江別 2/22 (24)
- 北海道 へ小樽 2/23 (25)
- 青森 たびよん劇場 2/27 (29)
- 仙台 BEER 3/1 (31)
- 東京 エルファンコ 3/6 (36) 7 (38)
- 富山 ビートクラブ 3/10 (39)
- 石川 (珠洲) JAHVA 3/12 (41)
- 金沢 KOHRI NBO 109 3/14 (43)
- 福井 入形と語り座 3/15 (44)
- 滋賀 3/20 (49)
- 京都 リーファーストイベントホール 3/22 (51)